

「感染症拡大のリスクを抑え、MICE を開催するための主催者向けガイドライン」

2020年8月28日 改訂箇所

- 1) 1～2ページの一部文言を、8/18現在の状況に合わせて修正。
- 2) 3ページ1-2の(例)「『大阪モデル』に基づき」→「政府・自治体より」に修正。
- 3) 3ページ2-2のA)の2つの○の文。「空気の流れを作る」→「空気の流れを作り、外気を取り込む」
- 4) 3ページの3-2のD)「本日現在は2週間以内」→「最新情報を確認」に修正。「(当該期間に～場合も含む)」を削除。
- 5) 3ページの3-3を新たに追加。
- 6) 4ページの1-1「体温測定と記録、健康チェック」→「検温と体調確認」に修正。
- 7) 4ページの1-2の最後の一文。「これを補強するために、大阪府の～メールで送付されます。)」を、厚労省の接触確認アプリを追記するなど修正。
- 8) 4ページ改定前の1-3。「会場の出入口付近に隔離スペースを設け、可能な場合は医師または看護師を常駐させる。」→削除。
- 9) 4ページ改定前の1-4.を次のように修正 →「1-3. 入場登録時に「体調は良好か」を尋ねると共に、非接触型体温計やサーモグラフィーなどを使用し検温を行う。発熱者(37.5度以上目安)や体調が優れない人を発見した際は、一時的に待機できるスペースに誘導し、入場をご遠慮いただくようお願いする。必要があれば緊急連絡先に連絡し、医療関係者の指示に従って対処する。」
- 10) 4ページの3-2「空気の流れを作る」→「空気の流れを作り、外気を取り込むための」に修正。
- 11) 5ページの4-2「2m目安(最小1m)」→「最小1m」に修正。
- 12) 5ページの4-3「いわゆるソーシャルディスタンス(2m目安、最小1m)」→「最小1mの対人距離」に修正。かつ、読みやすくするためにA)～C)の箇条書きに修正。さらに、必須事項であるかのように誤解させる恐れがあるため、注釈の図(一人当たりの面積例)を削除。
- 13) 5ページの4-6を最新の知見及び運営上の現実に合わせて修正。また、消防法との兼ね合いで非現実的であると判明したため、注釈の図例を削除。